

事業所名

グループホームやなせ

(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付

平成21年 3月31日

評価機関名

㈱東京リーガルマインド

(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員

A:現職 通所介護事業所管理者
資格・経歴 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法トレーナー、ヘルパー養成講座講師、生活相談員

B:現職 理学療法士
資格・経歴 障害児施設勤務20年、理学療法士、介護支援専門員、ガイトヘルパー講師

自主評価結果を見る

(事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る

(評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
・井原市の中心部より、国道313号線を車で約10分ほど北に向かうと、ホームのある芳井町楽瀬に着く。山あいを小田川が流れ、通称芳井富士とも楽瀬富士とも呼ばれるおむすび山があり、さながら昔話の絵のようである。山里の集落の中には田畑が広がり、日本の原風景のような穏やかな環境の中で入居者は日々暮らしている。

・母体である「ファイン」という法人名は、「雲ひとつなく晴れやかな」「とっても素敵な」という意味があり、元ピアノ教師をしていた代表者は、いつでもどんな時でも前向きでいたいという思いを込めてつけたのだという。介護経験豊富な管理者の協力者を得て、「入居者一人ひとりと個別にきちんと向き合いたい」「入居者や家族と共に歩みたい」という共通の思いで入居者を支援している。また、地域に貢献したいという思いも強く、地域に根ざしたホームとなるよう、日々、努力を重ねている。

・小規模多機能型居宅介護事業所を併設しており、デイサービスでは家族の希望に沿えなかった部分を補うべく、在宅支援を始めている。登録定員を20名とし、泊まりの定員を8名としてできる限りで在宅で暮らしたいという方々の泊まりの要望にも応えている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

・地域への貢献という気持ちで立ち上げ、様々な思いを経由しながら前進しているところであり、改善というよりは、今後の充実を図るうえでの提言として、
1.個人の記録は良く為されており、その記録を入居者一人ひとりの全体像や、一日、1ヶ月の流れに沿って分類されれば、より個々の状態や様子がわかりやすくなるのではと思う。
2.内部研修会や勉強会、ケアカンファレンスの充実を望みたい。一堂に会してが無理でも、一人ずつ少しずつからでも行い、研修内容は記録して全体に周知していくようにされてはどうか。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述) ・「水」にこだわり、自然の水が本来持っている力に近い水を使用することによって身体の中からのケアを手助けしたいと考えている。 ・入居者一人ひとりの人格を尊重し、常に相手の立場に立ち、生き生きとした生き甲斐のある生活をしてもらうため、四季の移り変りを眺めながらゆったりとくつろげる空間と、笑顔溢れる家庭的で安心できる環境を地域の方々と共に創っていけるよう努力している。 ・代表者の感性と管理者やケアマネージャー、職員の介護の専門的な知識・技術を融合させ、入居者一人ひとりの「個」に目を向け、その人らしさを大切にしたい。ケアをめざしている。 ・地域に根ざし、地域の人たちとの交流を深め、地元のお年寄りの寄り合いの「場」となることをめざしている。ホーム主催で夏祭りや観月会を開催し、地元の方々にも参加していただき、好評だった。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述) ・一人ひとりを理解し、それぞれの個性を大切に安心して落ち着いた生活が送れるように、声かけや居心地の良い居場所作りを心がけている。 ・ハード面においても、ソフト面においても人の温もりを感じられる雰囲気作りを行っている。優しい言葉をかけ、心を温めたゆったりとした関わりを心がけている。椅子の下には足台を作り、高齢者の下肢のたるさやむくみに対応するようにしており、手組みのカバーがかけられている。馴染みの人たちとおしゃべりをしたり、触れ合うコーナーにあるソファーにも可愛い手組みのカバーがかけられ、温かさを演出している。 ・代表者がこだわっている、「水」に始まる環境作りに取り組んでいる。リビングの大きな掃き出し窓からは太陽の光が燦々と降り注ぎ、窓を開けると広いバルコニーへとつながり、いつでも外に出ることが出来る。目前にはおむすび山が見える。天井には天窗があり、そこから明るい日差しが射し込んでいる。建物は平屋になっており、外への出入りも楽にでき、光や風、土など自然にいつでも触れることができる。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にしたい整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述) ・洗濯や食事の支度などの家事や菜園作り、ぬい物やちぎり絵などの趣味活動等、入居者それぞれの出来ることや得意なことを生かし、目的や達成感を得られるよう取り組んでいる。 ・入浴は一人浴であり、排泄介助の場面でもプライバシーに配慮した介助や声かけを行っている。また、個人ファイルは事務室の戸棚の中に鍵をかけて保管し、個人情報漏れることがないよう留意している。 ・その人らしさを大切にするためには、まず、日常生活の中で入浴・排泄・食事などの自立支援と、洗濯・掃除といった生活習慣が保てるように支援をすることでもあり、できるだけ入居者自身で行えるように支援している。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日々から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述) ・入居者の健康管理には力を入れており、主治医や家族との連携を密にして異常の早期発見に努めている。受診記録には、受診の理由やその結果、薬の効果や副作用等の薬情報、付き添った職員の名前、次回受診日が記載されており、入居者の病気のことや身体状況が誰にでもわかるように記録して、入居者の様子を把握しやすいように配慮している。 ・職員は、勤務時間の30分前には、勤務に就くようにしている。申し送りノートなどから情報を得て、万全なケアができるように努力しており、ノートを確認した後はサインをし、全員に確実に情報が伝わり、共有できるようにしている。 ・ヒヤリハットや事故の発生時にはカンファレンスを開き、原因や対策を検討して再発防止策を出し合い、二度と同じことを起こさないように再発の防止に努めている。 ・「その人らしさを大切にしたい個別の対応をしたい」、「家族とも良い関係を築いていきたい」、「地域に貢献したい」との代表者の想いがあり、職員の気持ちを一つにし、チームとしてケアの質の向上に向けて研修を進めていっている。		